袋物関連																
前作	商品名	目的	使用袋数	N/kg	備考	参考価格	使用金額									
緑肥あとや残速分解	IMP	緑肥分解と微生物施用 腐植の量増加	4	0.8	だけど1.6実質0.8で計算 5か月放出のイメージ		2200	8800								
	ヒューライムまたは、苦土石灰	pH調整時 推奨はヒューライム	5		ヒューライムは腐植酸を含む		1430	7150								
春・秋ネギ																
			使用袋数	N/kg	備考	参考価格	使用金額	夏・冬ネギ			使用袋数	N/kg	備考	参考金額税込み	使用金額	
元肥	ST01-897	有機質5割以上で微生物を動かしながら、 2週間を重複する	4	6.4	1キロほどN控えめ。		4675	18700	元肥	トモエ特8号	カルシウム 硫酸 その他微量要素を複円化で吸収を効率よく	5	6	3980	19900	
	ポリサルフェイト	K, Ca, S, Mg 60日ほどかけて放出	2	0	スーパーボラス の時もあるかも		3788	7576		スーパーボラス	微量要素 ケイ酸 CEC UP	4		3940	15760	
追肥1	ST01-897		1	1.4			4675	4675	追肥1	トモエ特8号		2	2.4	3980	7960	
	トリプルアズンド	- 肥料成分:窒素(N) 8%、リン酸(P) 0%、カリウム(K) 11.8% 腐植酸成分:フミン酸 5%、フルボ酸 16% アミノ酸含有量:約1.5キロロ液	1	0.8	だけど1.6実質0.8で計算 2か月放出のイメージ		5280	5280	追肥1	トリプルアズンド		0.5	0.8	だけど0.8実質0.4 2か月放出のイメージ	5280	2640
追肥1	ST01-897		1	1.4			4675	4675	追肥2	トモエ特8号		2	2.4	3980	7960	
追肥2	IMP	病気対策重視で追肥を使用する	2	0.4	0.88だが実質半分計算		2200	4400	IMP			3	0.66	1.32だが実質半分 夏の軟弱対策	2200	6600
追肥2	トリプルアズンド		1	0.8	だけど1.6実質0.8で計算 2か月放出のイメージ		5280	5280	追肥2	トリプルアズンド		0.5	0.8	だけど0.8実質0.4 2か月放出のイメージ	5280	2640
追肥3	ST01-897		1	1.4			4675	4675	追肥3	トモエ特8号		2	2.4	3980	7960	
追肥3	IMP		2	0.4	0.88だが実質半分計算		2200	4400							0	
				13				59661					15.46		71420	

液肥関連													
設計条件として使用水量を一律100lとして防除【葉面散布】に組み込むとする。 定植後栽培期間をおよそ6か月間とする。													
		商品説明	倍率	回数	使用原液量 原液使用料ml又は、g	参考金額1mlあたり	使用金額	備考					
	リーフエナジー【勝ち間之葉芽】	脂肪酸	原液	12	1500	9.35	14025	原液の場合は反当り100ml 夏と冬は150ml〜増【約5か月】					
	ラプラス	核酸 LPS ALA アミノ酸【微量】	原液	12	1800	3.83	6894	原液150mlで計算					
	スベースエージ	クロレラエキス、モリブデン、ホウ素、核酸、亜リン酸		1000	8	1200	4.385	5262	6月から9月12月から3月 8か月				
	PKマギー	リン酸 苦土 ホウ素 リン酸供給の軸にする。		500	12	2400	0.39875	957	必ず葉面散布には、組み込む				
	ギガフォル	アミノ酸【グリシンベタイン プロリン	原液	6	800	6.6	3960	冬場、夏場に利用					
定植時	EB-a細胞	定植前 固粒化	使用キロ数	1		4000	2.86	11440					
育苗中	ラプラス	設計条件として使用水量を一律20lとして防除【葉面散布】に組み込むとする育苗を3か月ほどで計算とする。		1000	4	20	3.83	76.6	播種時				
								42614.6					